

ALOS-2緊急観測事例（口永良部島 火山活動）

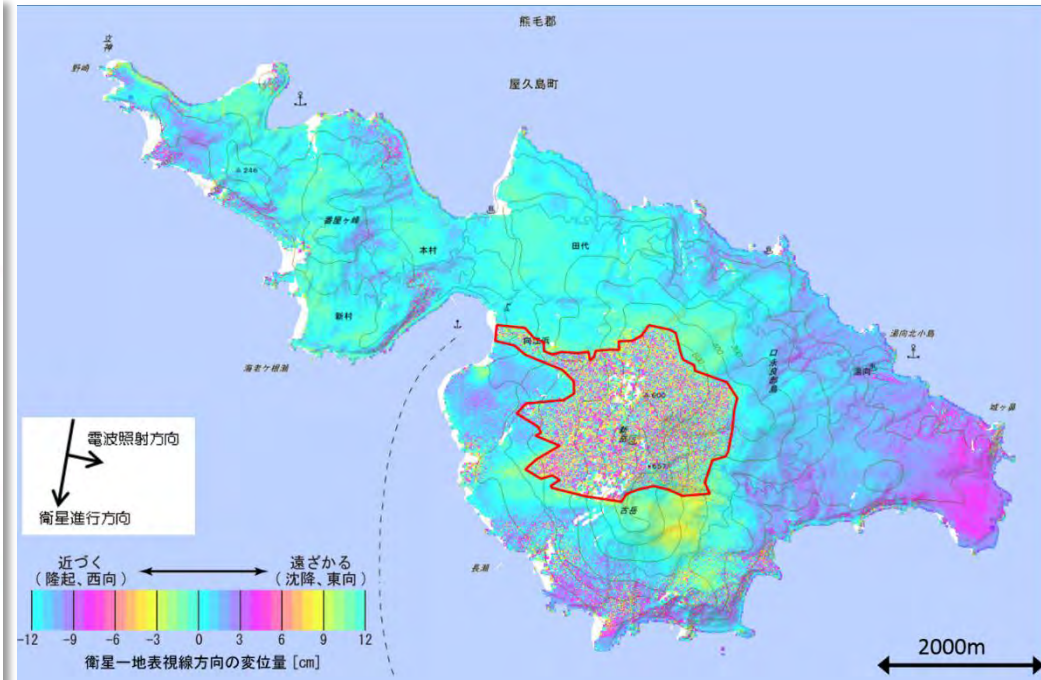
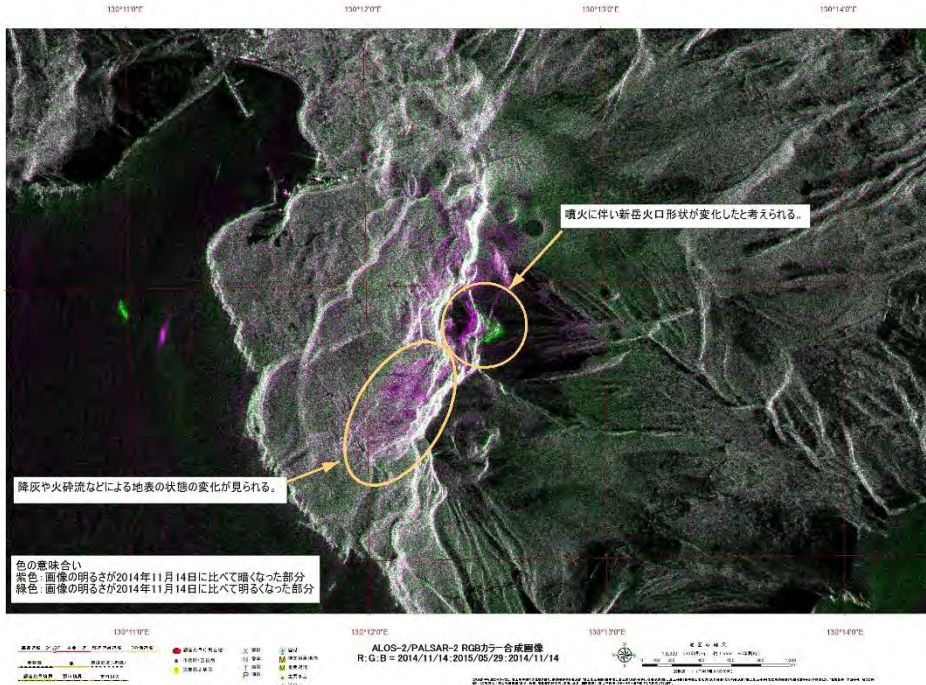
2015年5月29日10時頃、大規模な噴火が発生し、内閣府、火山WG、九州地方整備局の要請により同日の12時頃に緊急観測を実施した。解析結果はだいち防災WEBに掲載した他、火山WGメンバーの気象研、防災科学技術研究所および国土地理院により「火山噴火予知連拡大幹事会」で報告され、火口の変化や降灰、火砕流の状況把握に活用された。

データ提供タイムライン:

5/29 9:59噴火 ⇒ 10:20 緊急観測要請 ⇒ 12:43 緊急観測実施 ⇒ 13:55火山WGへデータ提供

災害速報図(解説付き)RGBカラー合成画像 (JAXA だいち防災WEB)
(2014年11月14日/2015年5月29日)

地殻変動抽出 差分干渉画像(国土地理院)
(2014年11月14日/2015年5月29日)



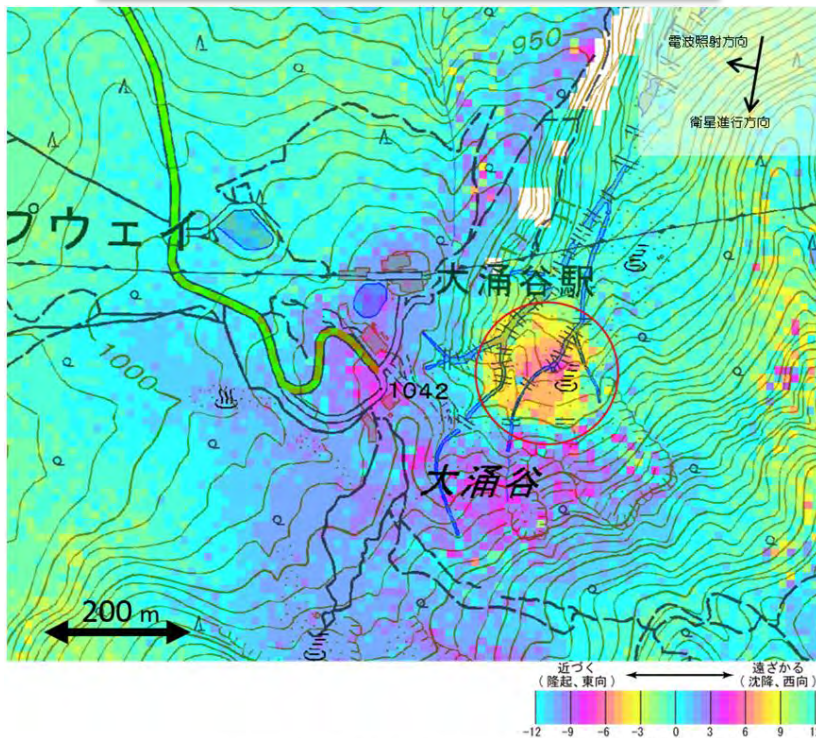
⇒噴火前後の変化箇所が着色される災害速報図RGBカラー合成画像から火口の変化や降灰や火砕流の影響範囲が推測できる

⇒干渉性が低下する赤の範囲において降灰や火砕流等による影響が推測される。左図のカラー合成画像より影響範囲が明瞭である。

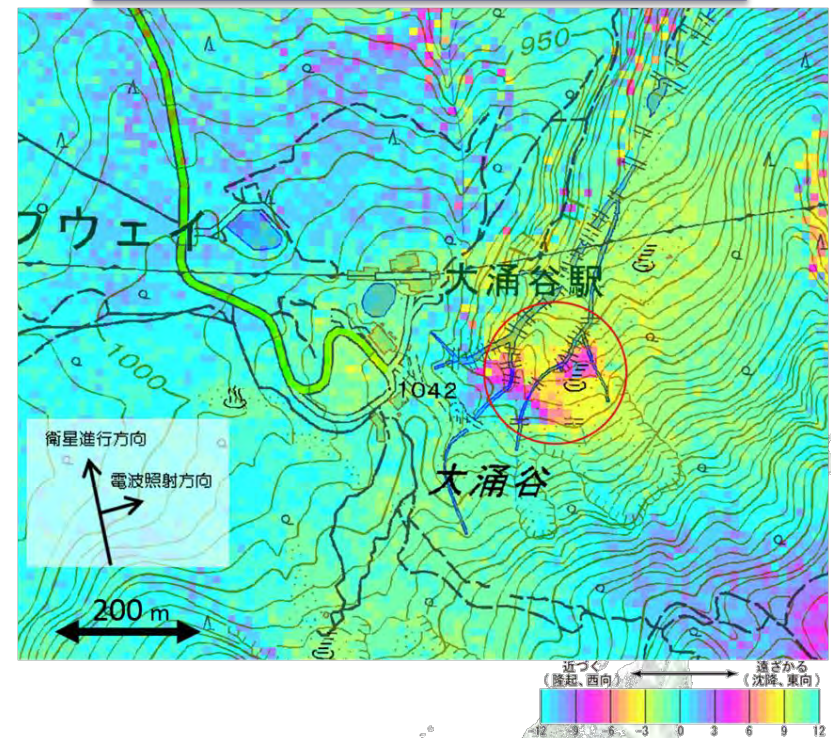
ALOS-2緊急観測事例（箱根山火山活動）

2015年5月4日に箱根山の大涌谷の火山活動が活発になり、火山WG(事務局:気象庁)からの要請により緊急観測を実施した。解析結果は火山WGメンバーの神奈川県温泉地学研究所および国土地理院により「箱根火山対策連絡会議」で報告され、規制区域への立入再開及び安全対策の判断材料として活用された。現在も週1回程度の高頻度で警戒時観測を実施中。

地殻変動抽出 差分干渉画像(国土地理院)
(2014年10月9日/2015年5月7日)



地殻変動抽出 差分干渉画像(国土地理院)
(2015年4月17日/2015年5月15日)



⇒ 5/7時点では赤丸内に最大8cm程度の地殻変動が観られた(左図)が、継続的監視を目的とし5/15に観測した結果から12cm程度の地殻変動が確認された。

3. 各衛星の状況について

